



## 昭和殖民地の學校落成式



惱みの種だつた校舎が出来上つたので重荷を卸した形であるが、教員住宅、便所、ベランダ等は當國のイグレシャ式に追々建設中の計畫である。

## クワタ同志會

## 役員會開催

クワタ郡奥十五キロの平和郷昭和殖民地は創設以來不況と聞つて來たが、堅實主義の沖縄縣人大部分を占めてゐる事と世界的のクリセ等の先で吹き飛ぶ勢ひで初めの小さな家屋が次々と改築され、御用聞きの開地を訪問する毎に變化の早いのに驚を喫してゐるが、土地代も滞り無く済み生活に餘裕が出来た。

昨今珈琲の太る如に兒童もスクルと成長し、就學兒童四十名を起へ之れまでの假校舎では收容し切れぬので、豫て懸案の小学校新築に取り掛かる事に決し、野原次郎氏の學校敷地四分の一寄附を筆頭に寄附金は瞬く間に集り殖民者一同労力提供で八

順序で落成式を挙行した。

二日本の香新しい新校舎で左の野原蒲二

内田醫師歡迎會

△輸入品通關手續取扱

△輸出品通關手續取扱

**Relojoaria**

**開業**

ホマレ  
小學校新築

**御旅館二三笠**

野原蒲二

内田

醫師

歡迎會

ナントス市  
ブ拉斯ケーパー  
Caixa Postal, 657  
Telephone, 292

小淵友市

野原蒲二

内田

醫師

歡迎會

野原蒲二

内田

醫師

痴癡持のババイの聲だ。笑顔  
一つ見せる業を知らない父、家  
族の書を叱り飛ばしてのみゐる  
父の硬ばつた顔がチラと目に寫  
つた。

「道、肉を貰つて來い、ババイ  
が貰つて奉いと云へば分かるか  
らな」

「、、、、、、」

父が鹿狩の現場に居合さなか  
つたことを知つてゐる彼女は、  
先程からひそかに恐れてゐた父  
親の言葉を聞いて冷やりとした  
立つてゐた。竈の火が消えか  
つてゐる。道子は腰をかゞめ  
父の硬ばつた顔がチラと目に寫  
つた。

「道、肉を貰つて來い、ババイ  
が貰つて奉いと云へば分かるか  
らな」

鹿が斃れるとき顔を伏せて叫んだ。  
だ女の子が懷しくてたまらなか  
つた。亂れかゝつた髪の中から  
のぞいてゐるあの黒い瞳、彼女  
はあの子を固く抱きしめて想ひゆくまで泣いて見度いと申  
つた。

バストの中にはまだ多勢の人  
が居た。何かしきりにがやく思  
ひながら肉を分けてゐた。娘  
子はランプを差出してそこに杉  
子の居ないのを確めてホットす  
ると共に軽い失望を感じた。

道子は家へ歸つて行つた。彼女には村の他の人達のやうに、或る一つの物事に對して夢中にならない自分が限りなく淋しかつた。家へ這入つて行つたが、こゝども現在の彼女の安息所ではなかつた。

彼女は花畠へ出て行つた。そこには、なへ姫んだ花辨が醜い磯骸を残してゐた。アラヌ垣の向ふで隣のルスの子が働いてゐる、何日もアバカシを取つては父親に叱られるのを不思議に思つてゐるあの子、ブーロのやうにこき使はれるあの子、先日父親がカマーラーを殺して警察へ引かれて行つた時ですら、涙一滴零さなかつたあの子が愛しくてたまらなかつた。

「自分の身の上とよく似てる」

彼女はそう思つた。

◆本年度分譲地豫約申込すみ既に半數  
◆良い場所を早く御撰擇願ひます  
◆入植案内書(地図入)御申越次第郵送

パラナ  
モレス  
ムラス  
地  
分譲

■各 地 代 理 人 ■	
A 水 谷 熊 次 Est. Cerqueira Cezar - L. Sorocabana	
B 田 中 龍 介 Est. Cafelandia - Linha Noroeste	
C 高 橋 信 四 郎 Est. Frigorifico - Linha Paulista	
D 島 嶽 岩 吉 Est. Ribeirão Preto - L. Mogiana	
E 董 森 弼 之 次 Est. Catanduva - Linha Araraquara	
F 弗 卢 申 科 德 爵 Est. Villa Jatahy - L. S. P. Paraná	
G 白 井 介 仁 Est. Bandeirantes - L. S. P. Paraná	
H 西 川 喜 諾 Est. Promissão - Linha Noroeste	
I 泽 尾 磐 七 Est. Baurú - Linha Noroeste	
トレス・バラス移住地事務所 Caixa, T. B. Villa Jatahy L. S. P. P.	
有 限 責 任 ブ ラ ジ ル 拓 植 組 合 Caixa Postal, 2975 São Paulo	

他の部屋の方でもアーッといふ聲で、血が外へ流れ出た。兵舎の裏口へ走った。松川大尉は入口の戸を押した。すると戸内側に聞いた。大尉は「カーサー、中へ入って行つた」。その松川大尉が今日もその戸の前に立つてゐるのである。當時の複雑な心に話してくれるために来た大尉が「ここから入りました」とその戸の前に立つてゐるのである。支那兵の一つばはいつてゐる兵舎の申へ、訪問客のやうに入つて行つたその人が、再び又こゝに訪れて來てゐるのである。死んだ支那兵は「又来やがつたな」と呟つて少し居ただらう。「の重い月がギーと申へ開きました。申はさうなつてもののか知りませんが、見に角入れを思ひまして」死んだ支那兵は「又来やがつたな」と底の方へ歩兵砲を廻して兵舎の角の席へ向けて打つた。そこからは敵が飛躍能性を突出して盛んに打つてゐた。しばらくするを、底の中の敵がひとつ張り上げるに至つた。武田小隊はうしろの小さな小舎の左の端から、兵舎内へ彈を打ち込んだ。端から、兵舎内へ彈を打ち込んだ。端から打ち込んどいた。そして、次の兵器庫の中へ飛び込んだ。そして、兵舎側に向いた戸へビストルで穴を開けた。そこから腰を出した。端から打ち込んどいたとき、中尉は胸を打たれて板を倒したやうに仰向けに倒れた。「やられや！」と言いつたきりであつた。

# CASA SUGAYAMA

---

百貨商卸小賣

---

力量仁人演和多賣  
イグアペ郡レジストロ市街地  
菅山本店 店主 菅山誠  
主任 菅山光  
菅山支店 電話番號二〇  
ノロエヌテ線リーンス町  
菅山支店 電話六三 郵函二〇三  
ノロエヌラ線アラサツーバ町  
菅山支店 電話一四五D  
主任 今村廣  
菅山支店 郵函一四五D  
ノロエヌラ線ルサンビーラ輝  
チエラ移住地内  
主任 福島國喜  
菅山支店 熊本移住地内  
菅山支店 佐藤益次

**DR. H. SAITO**  
MEDICO  
Rua Inconfidência, 6-33  
BAURU — M. de S. Paulo

Dr. M. KONDA  
Medico e Operador  
Rua Luiz Gama, 58 Lins

◆ X光線診斷  
◆ 紫外線治療  
醫學士今田

お泊りごとお食事は  
ホタル だる まへ  
ジエツリー・ナ町  
(シネ通り)  
山 下 藤 太 郎

# HOTEL BASTOS

和洋御料理仕出し  
禮、忘年會、各種宴會には移住地内は  
拘す御招に依り出張に應す  
地指定旅館(事務所下側)

和洋御料理仕出し  
御婚禮・忘年會・各種宴會には移住地内は遠  
近に拘ず御招に依り出張に應す  
移住地指定旅館(事務所下側)

## 北滿のハルピンに

### 思想検察部を

赤化運動の侵入を防ぐ爲

### 國立公園 決 定

#### 委員會で

#### 軍事費財源のため 大増税を行へ

#### 軍部の硬論

考究中であるから優秀な日本製  
組物がリオ、ナントス港を販は  
すこともあるま

り遠くはあるま

る

國立公園設置については、數年  
前より國立公園委員會の特別委  
員會で慎重調査を重ねてゐたが  
此種成案を得可決すると共に、  
左記の十二ヶ所を内務大臣宛上  
申した

(一) 富士山、(二) 日光、(三)

(四) 十和田湖

(五) 北海道の大雪山、(六) 潮

(八) 王臺原、(九) 阿蘇山、

(十) 雲仙ヶ嶽、

(十一) 雲仙ヶ嶽、

(十二) 大山、

(十三) 雲仙ヶ嶽、

(十四) 雲仙ヶ嶽、

(十五) 雲仙ヶ嶽、

(十六) 雲仙ヶ嶽、

(十七) 雲仙ヶ嶽、

(十八) 雲仙ヶ嶽、

(十九) 雲仙ヶ嶽、

(二十) 雲仙ヶ嶽、

(二十一) 雲仙ヶ嶽、

(二十二) 雲仙ヶ嶽、

(二十三) 雲仙ヶ嶽、

(二十四) 雲仙ヶ嶽、

(二十五) 雲仙ヶ嶽、

(二十六) 雲仙ヶ嶽、

(二十七) 雲仙ヶ嶽、

(二十八) 雲仙ヶ嶽、

(二十九) 雲仙ヶ嶽、

(三十) 雲仙ヶ嶽、

(三十一) 雲仙ヶ嶽、

(三十二) 雲仙ヶ嶽、

(三十三) 雲仙ヶ嶽、

(三十四) 雲仙ヶ嶽、

(三十五) 雲仙ヶ嶽、

(三十六) 雲仙ヶ嶽、

(三十七) 雲仙ヶ嶽、

(三十八) 雲仙ヶ嶽、

(三十九) 雲仙ヶ嶽、

(四十) 雲仙ヶ嶽、

(四十一) 雲仙ヶ嶽、

(四十二) 雲仙ヶ嶽、

(四十三) 雲仙ヶ嶽、

(四十四) 雲仙ヶ嶽、

(四十五) 雲仙ヶ嶽、

(四十六) 雲仙ヶ嶽、

(四十七) 雲仙ヶ嶽、

(四十八) 雲仙ヶ嶽、

(四十九) 雲仙ヶ嶽、

(五十) 雲仙ヶ嶽、

(五十一) 雲仙ヶ嶽、

(五十二) 雲仙ヶ嶽、

(五十三) 雲仙ヶ嶽、

(五十四) 雲仙ヶ嶽、

(五十五) 雲仙ヶ嶽、

(五十六) 雲仙ヶ嶽、

(五十七) 雲仙ヶ嶽、

(五十八) 雲仙ヶ嶽、

(五十九) 雲仙ヶ嶽、

(六十) 雲仙ヶ嶽、

(六十一) 雲仙ヶ嶽、

(六十二) 雲仙ヶ嶽、

(六十三) 雲仙ヶ嶽、

(六十四) 雲仙ヶ嶽、

(六十五) 雲仙ヶ嶽、

(六十六) 雲仙ヶ嶽、

(六十七) 雲仙ヶ嶽、

(六十八) 雲仙ヶ嶽、

(六十九) 雲仙ヶ嶽、

(七十) 雲仙ヶ嶽、

(七十一) 雲仙ヶ嶽、

(七十二) 雲仙ヶ嶽、

(七十三) 雲仙ヶ嶽、

(七十四) 雲仙ヶ嶽、

(七十五) 雲仙ヶ嶽、

(七十六) 雲仙ヶ嶽、

(七十七) 雲仙ヶ嶽、

(七十八) 雲仙ヶ嶽、

(七十九) 雲仙ヶ嶽、

(八十) 雲仙ヶ嶽、

(八十一) 雲仙ヶ嶽、

(八十二) 雲仙ヶ嶽、

(八十三) 雲仙ヶ嶽、

(八十四) 雲仙ヶ嶽、

(八十五) 雲仙ヶ嶽、

(八十六) 雲仙ヶ嶽、

(八十七) 雲仙ヶ嶽、

(八十八) 雲仙ヶ嶽、

(八十九) 雲仙ヶ嶽、

(九十) 雲仙ヶ嶽、

(九十一) 雲仙ヶ嶽、

(九十二) 雲仙ヶ嶽、

(九十三) 雲仙ヶ嶽、

(九十四) 雲仙ヶ嶽、

(九十五) 雲仙ヶ嶽、

(九十六) 雲仙ヶ嶽、

(九十七) 雲仙ヶ嶽、

(九十八) 雲仙ヶ嶽、

(九十九) 雲仙ヶ嶽、

(一百) 雲仙ヶ嶽、

(一百一) 雲仙ヶ嶽、

(一百二) 雲仙ヶ嶽、

(一百三) 雲仙ヶ嶽、

(一百四) 雲仙ヶ嶽、

(一百五) 雲仙ヶ嶽、

(一百六) 雲仙ヶ嶽、

(一百七) 雲仙ヶ嶽、

(一百八) 雲仙ヶ嶽、

(一百九) 雲仙ヶ嶽、

(一百十) 雲仙ヶ嶽、

(一百十一) 雲仙ヶ嶽、

(一百十二) 雲仙ヶ嶽、

(一百十三) 雲仙ヶ嶽、

(一百十四) 雲仙ヶ嶽、

(一百十五) 雲仙ヶ嶽、

(一百十六) 雲仙ヶ嶽、

(一百十七) 雲仙ヶ嶽、

(一百十八) 雲仙ヶ嶽、

(一百十九) 雲仙ヶ嶽、

(一百二十) 雲仙ヶ嶽、

(一百二十一) 雲仙ヶ嶽、

(一百二十二) 雲仙ヶ嶽、

(一百二十三) 雲仙ヶ嶽、

(一百二十四) 雲仙ヶ嶽、

(一百二十五) 雲仙ヶ嶽、

(一百二十六) 雲仙ヶ嶽、

(一百二十七) 雲仙ヶ嶽、

(一百二十八) 雲仙ヶ嶽、

(一百二十九) 雲仙ヶ嶽、

(一百三十) 雲仙ヶ嶽、

(一百三十一) 雲仙ヶ嶽、

(一百三十二) 雲仙ヶ嶽、

(一百三十三) 雲仙ヶ嶽、

(一百三十四) 雲仙ヶ嶽、

(一百三十五) 雲仙ヶ嶽、

(一百三十六) 雲仙ヶ嶽、

(一百三十七) 雲仙ヶ嶽、

(一百三十八) 雲仙ヶ嶽、

(一百三十九) 雲仙ヶ嶽、

(一百四十) 雲仙ヶ嶽、

(一百四十一) 雲仙ヶ嶽、

(一百四十二) 雲仙ヶ嶽、

(一百四十三) 雲仙ヶ嶽、

(一百四十四) 雲仙ヶ嶽、

(一百四十五) 雲仙ヶ嶽、

(一百四十六) 雲仙ヶ嶽、

(一百四十七) 雲仙ヶ嶽、

(一百四十八) 雲仙ヶ嶽、

(一百四十九) 雲仙ヶ嶽、

(一百五十) 雲仙ヶ嶽、

(一百五十一) 雲仙ヶ嶽、

(一百五十二) 雲仙ヶ嶽、

(一百五十三) 雲仙ヶ嶽、

(一百五十四) 雲仙ヶ嶽、

(一百五十五) 雲仙ヶ嶽、

(一百五十六) 雲仙ヶ嶽、

(一百五十七) 雲仙ヶ嶽、

(一百五十八) 雲仙ヶ嶽、



